

令和3年度事業報告書

令和3年度事業内容（令和3年4月1日～令和4年3月31日）は、以下のとおりであります。

1. 基本財産等に関する事項

令和3年度は、東京海上日動火災保険株式会社等からの基本財産への寄附はありませんでした。なお、同期間において、東京海上日動火災保険株式会社から、令和3年度の運用財産として24,500,000円の寄附がありました。

2. 定例事業の実施

定例事業につきましては、令和3年5月より教育研究助成事業・交通遺児育英助成事業の募集を開始しました。

応募数は、教育研究助成事業が102作品、交通遺児育英助成事業が85名となり、令和3年12月3日開催の選考委員会で、教育研究助成102作品、交通遺児育英助成85名を採択し、助成を行いました。

令和3年度の教育研究助成事業及び交通遺児育英助成事業の定例事業助成金総額は19,544,000円となりました。

（助成金の内訳）教育研究助成事業	9,800,000円（102作品）
交通遺児育英助成事業	9,744,000円（85名）

3. 正味財産について

（1）指定正味財産

令和3年度の指定正味財産は、850,725,992円で、前年度から変更はありませんでした。

（2）一般正味財産

評価損益等調整前当期経常増減額（経常収益から経常費用を差し引いたもの）はコロナ禍による助成金等の減少により、2,755,215円の収入超過となりました。

基本財産評価損益等は57,804,210円増加し、特定資産評価損益等は794,200円減少しました。

その結果、令和3年度の一般正味財産は、前年度より59,765,225円増加し、269,354,693円となりました。

4. 各種会議の開催等

令和3年度に開催した会議は、理事会3回、評議員会2回、選考委員会1回であります。